

● 町民の広場

ありがとう 立小野小学校

立小野小学校の思い出



立小野小学校 4年
き 羅 綺
柚木原

立小野小学校では、野菜作り、たけのこ掘り、しめなわ作り、米作り、もちつきなど、立小野の自然を生かした、いろいろな体験をすることができました。その中で、私は、そば祭りが大好きで、毎年楽しみにしていました。

今年、四回目のそばうち体験。こねる・のぼす・切る・ゆでるの作業を一人で行います。とてもむずかしくて大変でした。こねすぎると、そばがかたくなります。また、うすくのぼしすぎると、やぶけてしまいます。切るときは、同じ太さになるように切らなければいけません。でも、ちいきの先生方が、やさしく教えて下さったので、お

いしいそばを作ることができました。私は、そばを好きなほうではないですが、自分で作ったそばは、とてもおいしかったです。

毎年、そば祭りには、私たちが作ったそばを楽しみに、たくさんの方が立小野小学校にやってきました。私たちが作った、形がバラバラなそばを、みんなは、

「おいしい。おいしい。」と、喜んで食べてくれました。それが、とてもうれしかったです。



立小野小学校 6年
ま えん 愛
福原

三月二十四日。わたしは立小野小を卒業します。閉校のため、最後の卒業生になります。卒業を迎えて、わたしがまず思うことは、入学してからも

う六年たったのだということです。そして、その一年ずつがとも充実していたなあということ。おはようございますと、さようならをこの学校で言えなくなるのは、言葉では言い表せない気持ちですが、この立小野小で様々なことを学びました。

入学前から人前に出るのが苦手だったわたし。でも、少ない人数であるために、体験活動での感想発表や始業式、終業式などでの発表をたくさん経験してきました。また、近くの野方小学校との交流学習や、合同での修学旅行は、友達づくりのよい機会となり、たくさんの出会いをすることができました。そして、自然が好きなたしにとって、立小野小での花いっぱい運動や野菜作りは、命を育てる難しさとうまくできたときの喜びを味わうことができました。

立小野小で過ごした思い出を忘れて、これからも充実した一日一日を送り、楽しい中学校生活にしたいと思えます。

※学年は旧学年になります。

編集後記

五月晴れの中、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳ぎ、野山も赤と緑のコントラストで映え、さわやかな日が続いている。そんな季節とは裏腹に社会情勢は実に厳しい……。働きたくても働く場所がない、学校を卒業し、「さあ社会へ出て」と思うと就職先まで取り消される始末、政治は凝りもせず、「金」の問題が出てくる。定額給付金の給付が始まっている。何を買おうかなとうれしい反面果たしてこれで地域が活性化するのだろうか。所詮、また国民にそのツケが回ってくるのではないか。まさに夢のもてない国になっていくような気がしてならない……。でも愚痴だけ言ってもしょうがない。せめてわがまちだけでも将来をしっかりと見据え、根の生えたまちづくりに取り組んでいかねばならない。議会だより一一一号をお届けいたします。

(広報編集委員 岩田秀二)

発行責任者 大崎町議会議長

阿野 二郎